

# 環境都市工学部

## 2.DPを含むアセスメント結果の活用

方法・指標	実施時期	対象年次	結果の活用
入学時・卒業時・パネル調査	10月～1月の間	全学年	教学IRプロジェクトの教授会でのフィードバックを受けて、カリキュラム改善や学習環境の充実に活用する。
基礎学力調査	4月	1年次	新入生入学時の基礎学力調査を行い、学習支援と履修指導に活用する。
成績不振者調査	9月、3月	1、2、3年生	単位取得が思わしくない学生に対して個別面談を行い、履修指導を行う。また、学習環境の充実に活用する。
授業アンケート	7月、1月	全学年	結果をフィードバックし、授業改善に活用する。
シラバスチェック	2月	全学年	教育や学習がCPIに則って適切に進められているか確認し、カリキュラムの改善に活用する。
特別研究の評価	2月	4年生	卒業論文と口頭発表により、基礎知識と専門知識・技能の統合、分析力、柔軟な思考による論理的な結論を導出する能力を評価する。
進路状況	3月	4年生	支援強化、自己点検・評価に活用する。
ルーブリックを活用した成績評価の実施	春学期	1年次	一部の科目においてレポート/発表資料のルーブリックを基に資料作成を促す。
特別研究中間発表会の実施	8月、12月	4年次	教員間で評価方法・基準を共有するとともに、多角的視点からの学生へのフィードバックを行う。